

庄 小を工場主相手の闘争は共倒れとなるのである。中小商工業の窮乏も同様である。筑豊炭坑の雇員賃上げ阻止運動も労資一丸となつた。我黨は十八二十人使用するが如き資本家并に闘抗するのではない。大資本家、大財閥に對して無産大衆の解放を叫ぶのである。

六、社會民衆黨並に大衆黨の訪客計畫

殊わて社民、大衆兩黨は訪客計畫をなしたるも共同闘争成立せず。且つ政高幹部は之を阻止したのであるが、社民田川支部幹部許斐親三郎は小池國太郎氏演説中傍聴席より立會演説を求め演壇に近づき遂に國社黨員の爲め殴打され警官の阻止に依つて辛じて退場したるも之れが爲國社黨對社民黨關係は一層尖鋭化するに至つた。

(一) 國社黨門司支部演説會狀況

- 一、日時、 昭和七年七月十六日 自午後七時四十分 至午後十一時
- 二、會場、 門司市日岡町旭座劇場
- 三、聴衆、 約四〇〇名
- 四、入場料、 尙未定
- 五、會場に掲げたスローガン
 - 資本主義機構打碎國家統制經濟實施
 - 人種平等資源公平、アジア民族の開放
 - 金權支配絶絶進取政治の徹底
 - 國民生活窮乏打倒社會主義日本建設
- 六、演説の要旨

中央執行委員 安 藤 盛

資本主義經濟組織の下に於ける資本家の儲けが甚しく富